

【草花の部屋】

カンナ（カンナ科カンナ属 Canna）

和名：カンナ **別名**：ハナカンナ、ダンドク

英名：Canna、Indian shot、Common garden canna、Canna lily

ショウガ目 多年草(球根) **原産地**：熱帯アメリカ

花言葉：情熱、快活、永遠、妄想 **花の色**：赤、黄、桃、橙、白、複色



← 写真-1 カンナ

撮影日：2015 年 07 月 15 日

撮影場所：インターラーケン(スイス)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 カンナ

撮影日：2015 年 07 月 15 日

撮影場所：インターラーケン(スイス)にて

撮影者：M さん

インターラーケンは、ユングフラウ、アイガーなどの名峰を巡る、ベルナー・オーバーランド(ベルン高地)観光の拠点の街。この街の、ほぼ中心部にある、ヘーエ通り沿いに色とりどりの植物と一緒に混植されていました。ヘーエ通りからは、ヘーエマッテ公園越しに、ユングフラウを観ることもできます。

ヘーエ通りの街路樹にはマロニエ(西洋トチノキ)が植えられており、その間に花壇が・・・。

カンナとは、カンナ属に分類される植物の総称で、南アメリカなどの熱帯アメ

リカを原産とする球根植物です。1850 年頃にアメリカやフランス、イタリアで品種改良されたものが多く出回り、日本へは江戸時代に渡来したそうです。現在は品種が 1,000 を超えることから、系統など区別は付けられておらず、観賞用のものは「ハナカンナ」と呼ばれているそうです。

< ちょっと一言 >

名前の由来ですが・・・。カンナの名前の由来にはいくつかの説があるようです。

「葦（アシ）」を意味するラテン語が語源で、管状の茎が葦を思わせることに由来すると説がよく知られているそうです。ほかにも、ケルト語の「杖」または「脚」を意味する語が由来だという説もあるそうです。